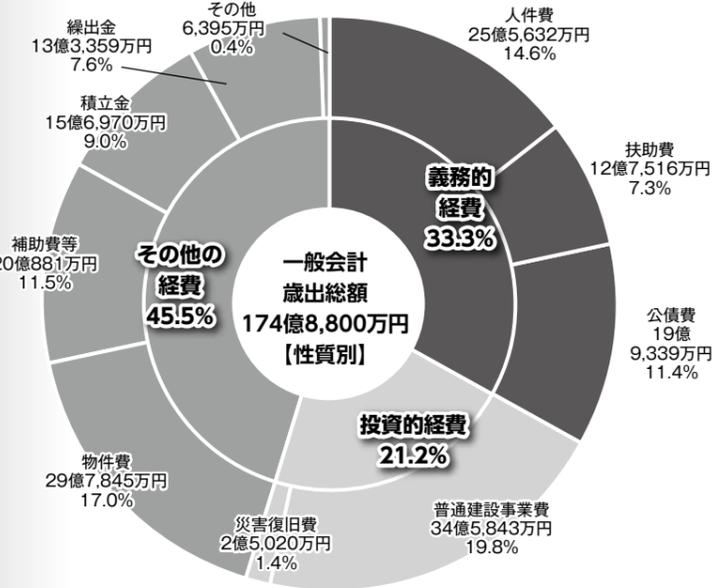
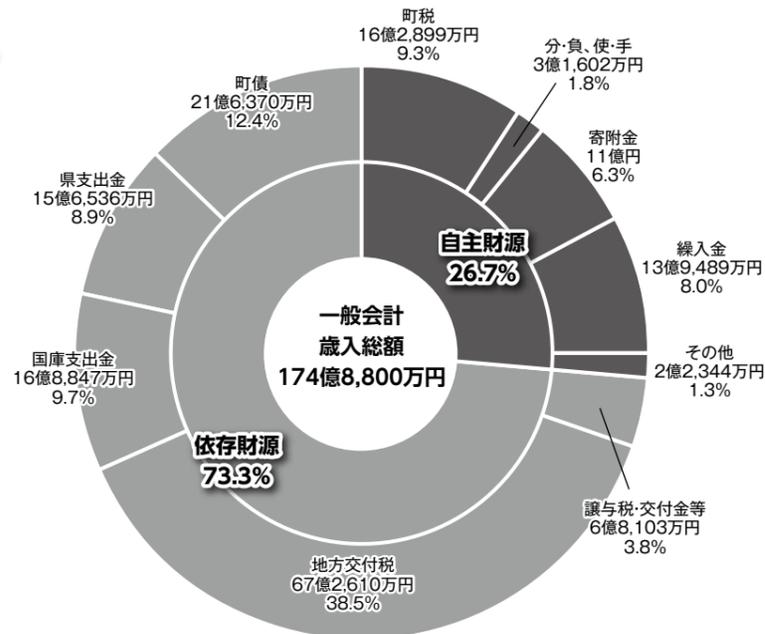


# 一般会計当初予算の概要

## 【歳入】

区分	令和2年度当初	構成比
(1) 自主財源	46億6,334万円	26.7%
町税	16億2,899万円	9.3%
分・負、使・手*	3億1,602万円	1.8%
寄附金	11億0万円	6.3%
繰入金	13億9,489万円	8.0%
その他	2億2,344万円	1.3%
(2) 依存財源	128億2,466万円	73.3%
譲与税及び交付金等	6億8,103万円	3.8%
地方交付税	67億2,610万円	38.5%
国庫支出金	16億8,847万円	9.7%
県支出金	15億6,536万円	8.9%
町債	21億6,370万円	12.4%
合計(1)+(2)	174億8,800万円	100.0%

\*分・負、使・手=分担金および負担金、使用料および手数料



## 【歳出】 【性質別】

区分	令和2年度当初	構成比
(1) 義務的経費	58億2,487万円	33.3%
人件費	25億5,632万円	14.6%
扶助費	12億7,516万円	7.3%
公債費	19億9,339万円	11.4%
(2) 投資的経費	37億863万円	21.2%
普通建設事業	34億5,843万円	19.8%
災害復旧事業	2億5,020万円	1.4%
(3) その他の経費	79億5,450万円	45.5%
物件費	29億7,845万円	17.0%
補助費等	20億881万円	11.5%
積立金	15億6,970万円	9.0%
繰出金	13億3,359万円	7.6%
その他	6,395万円	0.4%
合計(1)+(2)+(3)	174億8,800万円	100.0%

## 町民1人あたりの予算額：1,043,250円

(令和2年3月1日現在：16,763人)

目的別一般会計歳出	金額	累計
議会費	7,501円	(1億2,574万円)
総務費	250,220円	(41億9,444万円)
民生費	204,832円	(34億3,360万円)
衛生費	74,280円	(12億4,516万円)
農林水産業費	89,358円	(14億9,791万円)
商工費	20,132円	(3億3,747万円)
土木費	116,104円	(19億4,625万円)
消防費	75,812円	(12億7,084万円)
教育費	70,119円	(11億7,541万円)
災害復旧費	14,926円	(2億5,020万円)
公債費	118,916円	(19億9,339万円)
その他	1,050円 労働費 諸支出金 予備費	(1,759万円)

※( )内の金額は各目的別の全体の予算額  
※総務費…全般的な管理経費や企画調整費などのほか、ふるさと納税に係る返礼品などの関連経費や基金への積立金なども含まれます。

## 町の預金と借金残高(一般会計)

年度	積立基金(預金)残高	町債(借金)残高
令和2年度見込額	111億5,112万円	195億2,099万円
令和元年度見込額	109億7,631万円	183億5,797万円
平成30年度決算額	106億3,489万円	186億1,191万円

## 【メモ】

町債は、公共施設の建設等の財源として町が借り入れるお金で、いわゆる借入金です。しかし、個人の借金とは違って、将来その返済(元利償還金)の一部が、地方交付税として国から交付(算入)されるものが多数あります。  
左表の平成30年度決算額では、一般会計の町債残高が186億1,191万円となっていますが、そのうち地方交付税で交付されるものなどを除き、町が支払う実質の負担額は40億6,196万円(町債残高の21.8%相当額)となっています。

# 令和2年度当初予算の概要

一般会計総額 174億8,800万円

[対前年度当初比+9,400万円・+0.5%]

## 令和2年度当初予算が可決されました

四万十町の令和2年度当初予算が町議会3月定例会で、一部修正動議を経て可決されましたので、概要についてお知らせします。

一般会計における予算総額は、ふるさと納税の返礼品や事務経費、基金積立金といったふるさと納税関連経費16億9,700万円(前年度当初比で1億2,700万円の増)の影響などにより、前年度と比較して9,400万円(0.5%)増加の174億8,800万円となりました。なお、修正動議については、旧家地川小学校を簡易宿泊施設などに整備する費用等1億1,800万円について減額修正案が提出されたもので、賛成多数で可決されました。

また、新設した2つの特別養護老人ホーム特別会計を含む10の特別会計と水道事業会計を加えた全会計の純計(重複分を差し引いた)予算規模は240億6,050万円となっています。

## 予算編成の基本方針

### 第2次総合振興計画の推進

～まちの将来像「山・川・海 自然が人が元気です 四万十町」の実現～

徹底した行財政改革と中・長期的な視点に立った予算編成への取り組み

### 人口減少の克服と地方創生を目指して

～「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた基本目標のより一層の推進～

町民参画と行政の透明性の向上

以上のような基本方針のもと、合併から15年目を迎える令和2年度は、第2次四万十町総合振興計画に掲げるまちの将来像の早期実現と第2期四万十町まち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進し、喫緊の課題である防災対策や公約および重点施策などの実現に向け、国・県の動向などにも十分注視しつつ編成しました。その主な事業は次のとおりです。

## 一般会計の主要事業

総合戦略に掲げた4つの基本目標	内容
① 地域の特性を生かした雇用を創出する	社員研修促進、こうち農業確立総合支援、新規就農者定着促進、地域営農支援、地域まるごと6次産業化推進、環境保全型農業推進、四万十川流域豊かな森林保全整備、特用林産産産体制支援、自伐林業者等育成支援、町有林管理整備、緊急間伐総合支援、企業立地等促進、商工業振興、地産外商推進、農業環境整備、町産材活用利用促進助成事業
② 四万十町への新しい人の流れをつくる	広報戦略推進、地域資源映像活用、四万十川水産資源回復、四万十川川ガキ育成、移住定住促進住宅整備、移住定住促進(移住促進)、地域おこし協力隊推進、ふるさと支援(ふるさと納税)推進、ホビー館推進、オアシス風観光交流拠点施設、文化的景観保護活用、文化的施設整備、四万十川桜マラソン事業
③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	婚活推進、不妊治療費助成、妊婦一般健康診査通院費助成、安心子育て支援(出産祝金)、新生児聴覚検査、乳幼児健診、乳幼児・児童医療費助成、ファミリーサポートセンター運営、子育て世代包括支援センター、私立保育所運営支援、青少年わんぱく学校、移住定住促進(住宅支援)、ICT教育推進、地域教育推進、教育研究所・教育支援センター事業
④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	地区活動支援等、地域コーディネーター活動支援、情報共有促進、石油製品流通体制整備、人材育成推進、高齢者等外出支援、あったかふれあいセンター、配食サービス、24時間電話健康相談、健康ステーション、住宅リフォーム支援、生活環境整備、町道新設改良、公営住宅建設、吉見川浸水対策事業
その他の主要事業	<p>防災(地震・津波避難、大規模災害)・安全対策</p> <p>災害時要配慮者支援、農業用燃料タンク対策、耐震性貯水槽整備、避難所運営加速化、自主防災育成、志和地区津波避難対策、興津高台用地造成、津波避難路等維持管理、屋外貯蔵所整備、音声告知放送設備再構築、国土強靱化地域計画策定、地域避難施設等整備、防災施設整備、県営地域ため池総合整備負担金、橋梁耐震補強、橋梁長寿命化修繕、橋梁定期点検、町道安全対策、木造住宅耐震化促進、ブロック塀等対策推進、緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進、土砂災害対策、老朽住宅除却事業</p> <p>その他</p> <p>食品ロス削減推進、興津出張所新築、農業競争力強化農地整備、林業事業体担い手育成支援、森林経営管理事業</p>

★詳細については、町ホームページ「四万十町の財政状況」コーナーで公表しています。

[お問い合わせ先] 総務課 財政班 ☎22-3111